

平成28年度 高冷地水稻生育速報(第1報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(6月1日調査)

品種名	年度	草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	葉色		葉 齢
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	24.2 (93%)	147 (125%)	3.7 (+0.1)	31.5 (+1.0)	5.2 (-0.3)
	前年	27.8	133	4.1	32.7	5.3
	平年	25.9	117	3.6	30.5	5.5
ひとめぼれ	本年	21.7 (92%)	142 (139%)	3.8 (+0.4)	32.8 (+3.1)	5.1 (-0.4)
	前年	25.1	101	4.0	32.1	5.6
	平年	23.6	102	3.4	29.7	5.5
たかやまもち	本年	25.4 (98%)	100 (97%)	3.7 (+0.2)	29.6 (+0.7)	5.1 (-0.4)
	前年	26.8	89	4.0	30.9	5.4
	平年	25.8	103	3.5	28.9	5.5
ひだほまれ	本年	24.5 (97%)	140 (150%)	3.7 (+0.3)	31.8 (+3.6)	5.6 (+0.0)
	前年	25.6	118	4.1	32.4	5.8
	平年	25.3	93	3.4	28.2	5.6

栽培条件: 移植5月17日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

ただし、H25年度以前の栽植密度は22.2株/m²、平成26年度は18.2株/m²、平成27年度は21.2株/m²

平年値: 過去5年間(H23年~H27年)の平均値

()内の数値は対平年値

2. 生育状況と当面の管理

1) 気象概況

気温は平年より高めであり、特に最高気温が高く推移している。降雨は少なく、日照時間に恵まれた状況が続いている。

2) 生育状況

育苗期間における高温の影響により、移植時の苗はやや徒長気味となった。活着はゆっくり進んだことから、葉令は「ひだほまれ」が平年並み、その他の品種についてはわずかに遅い程度となっている。草丈はいずれの品種も平年よりも短いものの、分けつは「たかやまもち」が平年並みだが、その他の品種については平年よりも多くなっている。また、葉色についても葉色板、SPAD値ともに平年より高い状況である。

3) 病害虫等の発生状況

イネミズゾウムシの発生は平年よりも早く、5月第4半旬に散見されるようになった。また、表層はく離が発生していることから、今後の雑草発生について注意が必要である。

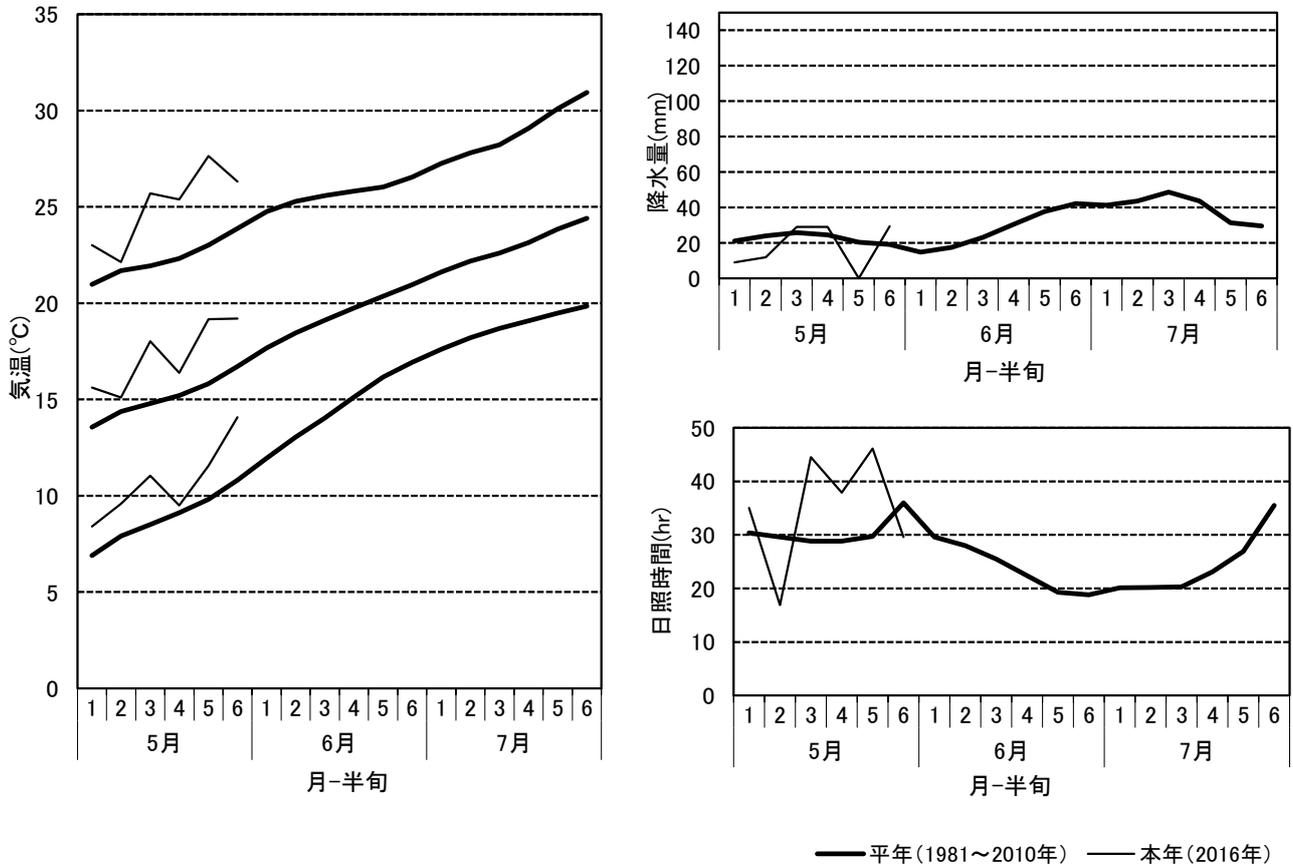
4) 今後の管理

「早期中干し」は生育促進、土壌中のガス抜き及びアオミドロ・藻類対策として効果がある。しかしながら、除草剤の効果低下も心配されるため、落水期間は2~3日とする。干し加減については、田面に細いヒビが入る程度で、干し過ぎず、田面を軽く固める程度とする。なお、早期中干し後は、浅水の間断灌水で管理し、根を健全に保つとともに分けつを促す。

<参考> 前回調査時(x月x日)の生育概況

品種名	年度	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年					
	前年					
	平年					
ひとめぼれ	本年					
	前年					
	平年					
たかやまもち	本年					
	前年					
	平年					
ひだほまれ	本年					
	前年					
	平年					

<参考> 半旬別気象図(高山市アメダス, 6月1日現在)



岐阜県中山間農業研究所
 TEL 0577-73-2029
 FAX 0577-73-2751
<http://www.cc.rd.pref.gifu.lg.jp/k-agri/>